

令和5年11月24日
上下水道事業運営審議会
資料 6-1

令和4年度 荒尾市上・下水道事業会計 決算の状況

荒尾市企業局



企業会計の「おさらい」

3条収支（収益的収支）

収益	費用
給水収益 ・水道料金	維持管理費 企業債利息
営業外収益 ・受取利息など	減価償却費
	純利益

<3条収支（収益的収支）>

施設設備の**維持管理**に係る収益と費用

【収益】水道料金とその他の収益

【費用】水をつくり、送り、施設設備を管理する経費

⇒減価償却費のように現金支出を

伴わない支出も含まれる

<4条収支（資本的収支）>

施設設備への**新規投資**に係る収益と費用

【収益】企業債収入、補助金など

【費用】施設設備を新設・改良するための費用

4条収支（資本的収支）

収益	費用
企業債収入 補助金など	建設改良費 企業債元金
内部留保資金	

現年度
損益勘定留保資金

内部留保資金

現年度
損益勘定留保資金

過年度
損益勘定留保資金



<内部留保資金>

家庭での貯金に該当するもの

⇒3条収支と4条収支を連結するもの

⇒3条の純利益と減価償却費のように

現金支出のない費用計上によって

生じた資金を含む

荒尾市水道業務の状況

令和5年3月31日現在

項 目	単 位	令和4年度	令和3年度	増減
行政区域内人口	人	50,052	50,622	△570
年度末給水人口	人	47,989	48,509	△520
普 及 率	%	95.9	95.8	0.1
年間総配水量	m ³ /年	5,422,581	5,518,526	△95,945
年間有収水量	m ³ /年	4,896,313	4,999,389	△103,076

年間総配水量：配水池や浄水場から送り出した1年間の水量

年間有収水量：水道料金収入につながった1年間の水量

- ※ 給水人口は、1年間で520名減少しました。
今後も給水人口は減少傾向になると予測します。
有収水量も給水人口と同様に減少しており、年間の水道料金収入も減少したことを意味します。

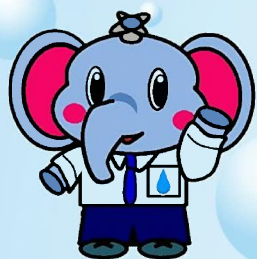


経営の状況 3条収支（収益的収入・支出）

(収益的収入)	(単位：千円)						
	令和4年度		令和3年度		対前年度比		水道ビジネス (R4)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)	
1. 営業収益	741,706	72.8	754,740	73.2	△13,034	△1.7	730,715
2. 営業外収益	277,699	27.2	276,198	26.8	1,501	0.5	279,252
3. 特別利益	27	0.0	440	0.0	△413	△93.8	
計	1,019,432	100.0	1,031,378	100.0	△11,946	△1.2	1,009,967

(収益的支出)	(単位：千円)						
	令和4年度		令和3年度		対前年度比		水道ビジネス (R4)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)	
1. 営業費用	958,707	93.8	941,563	93.7	17,144	1.8	962,323
①職員給与費	55,905	5.5	45,978	4.5	9,927	21.6	43,239
②経費	463,992	45.4	480,037	47.9	△16,045	△3.3	497,934
委託料（包括：修繕費）	54,303	5.3	58,835	5.9	△4,532	△7.7	97,693
委託料（包括：動力費）	64,075	6.3	52,280	5.2	11,795	22.6	51,446
委託料（包括：その他）	179,375	17.6	183,386	18.3	△4,011	△2.2	144,090
包括委託以外の経費	166,239	16.2	185,536	18.5	△19,297	△10.4	204,705
③減価償却費	430,406	42.1	406,081	40.4	24,325	6.0	415,700
④資産減耗費	8,404	0.8	9,467	0.9	△1,063	△11.2	5,450
2. 営業外費用・特別損失	62,729	6.2	63,263	6.3	△534	△0.8	77,285
計	1,021,436	100.0	1,004,826	100.0	16,610	1.7	1,039,608

収益的収支は、1,019,432千円－1,021,436千円＝**△2,004千円**の赤字となりました。



(損益収支)	(単位：千円)			
	令和4年度	令和3年度	増減	水道ビジネス (R4)
当年度純利益（損失）	△2,004	26,552	△28,556	△29,641
前年度繰越利益剰余金	114,883	148,331	△33,448	
その他未処分利益剰余金変動額	57,028	98,843	△41,815	
当年度未処分利益剰余金	169,907	273,726	△103,819	
利益剰余金	757,600	858,447	△100,847	

当期純損失 △200万4千円（令和3年度より2,855万6千円の減少）

利益剰余金（※1） 7億5,760万円（令和3年度より1億84万7千円の減少）

※1 利益剰余金とは、家庭での貯金に該当するものであり、これまでの利益の累積額です。利益剰余金が不足すると年度途中に発生する工事費の支払い等が出来なくなり、安定した事業の運営に支障をきたす恐れがあります。



経営の状況 4条収支（資本的収入・支出）

(資本的収入)	(単位：千円)						
	令和4年度		令和3年度		対前年度比		水道比 ^① ヲ (R4)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)	
1. 企業債	359,700	63.1	295,500	59.3	64,200	21.7	450,788
2. 工事負担金	30,058	5.3	15,760	3.2	14,298	90.7	10,000
3. 他会計負担金	9,632	1.7	13,108	2.6	△3,476	△26.5	4,050
4. 補助金等	170,489	29.9	174,012	34.9	△3,523	△2.0	100,000
計	569,879	100.0	498,380	100.0	71,499	14.3	564,838

(資本的支出)	(単位：千円)						
	令和4年度		令和3年度		対前年度比		水道比 ^① ヲ (R4)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)	
1. 建設改良費	641,578	70.7	637,940	71.3	3,638	0.6	643,983
①配水設備拡張費	184,283	20.3	155,381	17.4	28,902	18.6	
うち包括委託工事費	156,210	17.2	123,919	13.9	32,291	26.1	
②配水設備改良費	447,130	49.3	455,281	50.9	△8,151	△1.8	
うち包括委託工事費	353,653	39.0	366,542	41.0	△12,889	△3.5	
うち施設整備費	4,366	0.5	508	0.1	3,858	759.4	
③営業設備費	10,165	1.1	27,278	3.0	△17,113	△62.7	
うち包括委託工事費	9,157	1.0	9,330	1.0	△173	△1.9	
2. 企業債償還金	265,734	29.3	256,569	28.7	9,165	3.6	262,000
計	907,312	100.0	894,509	100.0	12,803	1.4	905,983

資本的収支

資本的収入（569,879千円）－資本的支出（907,312千円）
＝337,433千円の資金不足となりました。

なお、収支不足分につきましては、当年度損益勘定留保資金（※2）等にて補填しました。

※2 当年度損益勘定留保資金とは、現金支出を伴わない減価償却費（固定資産を耐用年数に応じて費用分配した額）等の企業の内部に保留される資金の事。



（資本的収支）

（単位：千円）

		令和4年度	令和3年度	増減	水道ビジネス (R4)
資本的収支不足額		337,433	396,129	△58,696	341,145
補填財源	過年度分	0	38,122	△38,122	
	当年度分	337,433	358,007	△20,574	

令和4年度決算(水道事業)

貸借対照表

資産 100 % 11,774,812 千円	負債 65.2 % 7,683,602 千円
	資本 34.8% 4,091,210 千円
うち現金預金 7.9% 929,565 千円	

損益計算書

営業費用 93.9 % 958,707 千円 うち減価償却費 430,406 千円	営業収益 72.6 % 741,706 千円 うち水道料金 737,891 千円
	営業外収益 27.2% 277,699 千円 特別利益 27 千円
営業外費用 5.9% 60,568 千円 特別損失 0.2% 2,161 千円	純損失 0.2% 2,004 千円

《水道事業の総括》

令和4年度は収益的収支において約200万円の赤字決算となりました。この赤字決算は平成3年度以来、31年ぶりの事です。要因としまして、人口減少等に伴う給水収益の減少と、減価償却費や動力費等の費用の増加によるものです。また、水道料金改定の実施がコロナ禍により市内経済状況の影響を考え、当初の予定より遅れたことも要因の一つであります。

この水道料金改定は本年10月に実施しましたので、今後5年程度は経営が安定すると見込んでいます。

今後も水道ビジョンに掲げる「あらおの水 蛇口から出る安心を これからも」を念頭に、老朽化対策等の各種施策を着実に実施し、次の世代に引き継げる安心して利用できる水道の維持に努めます。

荒尾市下水道業務の状況

令和5年3月31日現在

項目	単位	令和4年度	令和3年度	増減	伸率(%)
処理区域内人口	人	35,377	35,931	△ 554	△ 1.5
水洗化人口	人	32,136	32,424	△ 288	△ 0.9
普及率	%	70.7	71.0	△ 0.3	
水洗化率	%	90.8	90.2	0.6	
年間総処理水量	m ³	4,338,116	4,570,168	△ 232,052	△ 5.1
年間有収水量	m ³	3,801,825	3,896,830	△ 95,005	△ 2.4

※ 処理区域内人口は、昨年度より554人の減少となりました。また、普及率についても0.3%の減少となりましたが、水洗化率は0.6%とわずかではあります、増加しております。



経営の状況 3条収支（収益的収入・支出）

（収益的収入）

（単位：千円）

	令和4年度		令和3年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業収益	812,366	62.2	888,413	63.8	△ 76,047	△ 8.6
2. 営業外収益	495,264	37.8	500,686	35.9	△ 5,422	△ 1.1
3. 特別利益	0	0.0	4,660	0.3	△ 4,660	皆減
計	1,307,630	100.0	1,393,759	100.0	△ 86,129	△ 6.2

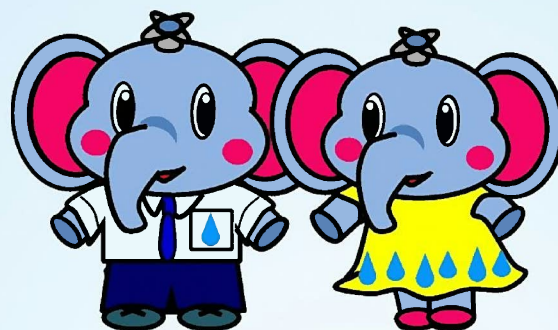
（収益的支出）

（単位：千円）

	令和4年度		令和3年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業費用	1,149,983	93.0	1,217,693	92.5	△ 67,710	△ 5.6
①職員給与費	65,343	5.3	82,233	6.2	△ 16,890	△ 20.5
②経費	446,040	36.1	509,741	38.8	△ 63,701	△ 12.5
③減価償却費	628,209	50.8	625,261	47.5	2,948	0.5
④資産減耗費	10,391	0.8	458	0.0	9,933	2,168.8
2. 営業外費用	87,310	7.0	100,016	7.5	△ 12,706	△ 12.7
①支払利息	81,664	6.6	88,930	6.7	△ 7,266	△ 8.2
②雑支出	5,646	0.4	11,086	0.8	△ 5,440	△ 49.1
3. 特別損失	0	0.0	13	0.0	△ 13	皆減
計	1,237,293	100.0	1,317,722	100.0	△ 80,429	△ 6.1



収益的収支は、1,307,630千円－1,237,293千円＝70,337千円の純利益となりました。



(損益収支)	(単位：千円)		
	令和4年度	令和3年度	増減
当年度純利益	70,337	76,037	△ 5,700
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	70,687	113,053	△ 42,366
当年度未処分利益剰余金	141,024	189,090	△ 48,066
利益剰余金	242,999	285,716	△ 42,717

当期純利益 7,033万7千円 (令和3年度より570万円の減少)

利益剰余金 2億4,299万9千円 (令和3年度より4,271万7千円の減少)

経営の状況 4条収支（資本的収入・支出）

(資本的収入)	(単位：千円)					
	令和4年度		令和3年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 企業債	422,500	53.9	347,000	56.4	75,500	21.8
2. 補助金	347,783	44.4	257,444	41.8	90,339	35.1
3. 工事負担金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 固定資産売却代金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 受益者負担金	13,099	1.7	10,857	1.8	2,242	20.7
計	783,382	100.0	615,301	100.0	168,081	27.3

(資本的支出)	(単位：千円)					
	令和4年度		令和3年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 建設改良費	715,333	58.1	554,420	51.0	160,913	29.0
2. 借入償還金	515,029	41.9	531,972	49.0	△ 16,943	△ 3.2
計	1,230,362	100.0	1,086,392	100.0	143,970	13.3

💡 キラーン



資本的収支

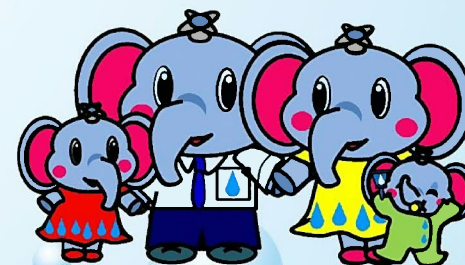
資本的収入（783,382千円）－資本的支出（1,230,362千円）
＝446,980千円の資金不足となりました。

なお、収支不足分につきましては、当年度損益勘定留保資金や減債積立金等にて補填しました。

（資本的収支）

（単位：千円）

		令和4年度	令和3年度	増減
資本的収支不足額		446,980	471,091	△ 24,111
補填財源	過年度分	0	0	0
	当年度分	446,980	471,091	△ 24,111



令和4年度決算(下水道事業)

貸借対照表

資産	負債
100 %	85.3 %
14,357,653 千円	12,251,652 千円
	資本
	14.7%
	2,106,001 千円
うち現金 2.6% 365,769 千円	

損益計算書

営業費用	営業収益
87.9 %	62.1 %
1,149,983 千円	812,366 千円
うち減価償却費 628,209 千円	うち使用料 717,354 千円
	営業外収益
	37.9%
営業外費用 6.7% 87,310 千円	495,264 千円
純利益 5.4% 70,337 千円	うち長期前受金戻入 296,135 千円

《下水道事業の総括》

令和4年度は収益的収支において約7,033万円の純利益となりましたが、今後については水道事業と同じく人口減少に伴う料金収入の減少や終末処理施設などの経年劣化に伴う更新費用の増加、また維持管理費など固定費の増加といった課題もあり、財政運営は厳しい状況が予測されます。

今後も効率的な事業運営を図るため、計画的な施設更新や戦略的な維持管理を行い、中長期的展望に立って経営基盤の強化に努めます。